

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	病理学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年	学期及び曜時間	前期	教室名	902教室
担 当 教 員	宇留島 嵩人				
実務経験とその関連資格	理学療法士として愛仁会高槻病院(急性期)で2年間勤務。その後尼崎だいもつ病院(回復期)で3年間勤務。運動器認定理学療法士取得済み。運動器疾患を100例以上担当。福祉住環境コーディネーター2級取得。心電図検定2級取得。本校にて国家試験対策講義を担当。				
《授業科目における学習内容》					
理学療法士国家試験に出題された病理学の問題について、問題に関連する内容を調べて理解し、過去問題の説明が出来るようになる。					
《成績評価の方法と基準》					
各単元ごとの科目テストで評価					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
参考書:理学療法士・作業療法士 国家試験必修ポイント2023 専門基礎分野 臨床医学(医歯薬出版株式会社) クエスチョンバンク 理学療法士作業療法士 国家試験問題解説2023 共通問題(メディックメディア) カラーで学ぶ病理学 第5版(付録 整理ノートあり)(ヌーヴェルヒロカワ) 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 病理学 第5版(医学書院)					
《授業外における学習方法》					
(予習)グループワーク発表に向け、各々が課題を調べて理解を深め、発表に向けての準備を行う。 (復習)自身の発表内容を振り返ること、他グループの発表を聞いて理解を深め、学期末テストに向けての準備を行う。					
《履修に当たっての留意点》					
グループメンバー全員で協力し合い、課題の資料作成・グループワーク発表を行うこと。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	授業の進め方を知る。創傷治癒についての国家試験過去問題を解答できるようになる。グループのメンバーと発表内容を決定する。	参考書 配布資料	グループの課題に関連する解剖学・生理学の復習しておく	
	各コマにおける授業予定	概要説明、創傷治癒について、グループ決定			
第2回	授業を通じての到達目標	各グループごとに課題について調べた内容をまとめる。①	参考書 配布資料	グループワークでまとめた内容について復習しておく	
	各コマにおける授業予定	グループワーク①			
第3回	授業を通じての到達目標	各グループごとに課題について調べた内容をまとめる。②	参考書 配布資料	グループワークでまとめた内容について復習しておく	
	各コマにおける授業予定	グループワーク②			
第4回	授業を通じての到達目標	各グループごとに課題について調べた内容をまとめる。③	参考書 配布資料	グループワークでまとめた内容について復習しておく	
	各コマにおける授業予定	グループワーク③			
第5回	授業を通じての到達目標	各グループごとに発表に向けての準備を完了する。	参考書 配布資料	グループ発表の練習しておく	
	各コマにおける授業予定	グループワーク④			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	炎症(急性炎症と慢性炎症、脳炎・脳症)についての国家試験過去問題を解答できるようになる。	参考書 配布資料	グループ発表の練習をしておく グループ発表で聞いた内容について復習しておく
	各コマにおける授業予定	グループワーク発表 『炎症(急性炎症と慢性炎症、脳炎・脳症)』		
第7回	授業を通じての到達目標	感染(感染症・院内感染対策)についての国家試験過去問題を解答できるようになる。	参考書 配布資料	グループ発表の練習をしておく グループ発表で聞いた内容について復習しておく
	各コマにおける授業予定	グループワーク発表 『感染(感染症・院内感染対策)』		
第8回	授業を通じての到達目標	感染(種々の感染症と感染源・感染経路)についての国家試験過去問題を解答できるようになる。	参考書 配布資料	グループ発表の練習をしておく グループ発表で聞いた内容について復習しておく
	各コマにおける授業予定	グループワーク発表 『感染(種々の感染症と感染源・感染経路)』		
第9回	授業を通じての到達目標	腫瘍(良性腫瘍と悪性腫瘍、種々の肉腫、脳腫瘍)についての国家試験過去問題を解答できるようになる。	参考書 配布資料	グループ発表の練習をしておく グループ発表で聞いた内容について復習しておく
	各コマにおける授業予定	グループワーク発表 『腫瘍(良性腫瘍と悪性腫瘍、種々の肉腫、脳腫瘍)』		
第10回	授業を通じての到達目標	腫瘍(種々の癌)、病理所見(眼疾患、痙縮)についての国家試験過去問題を解答できるようになる。	参考書 配布資料	グループ発表の練習をしておく グループ発表で聞いた内容について復習しておく
	各コマにおける授業予定	グループワーク発表 『腫瘍(種々の癌)、病理所見(眼疾患、痙縮)』		
第11回	授業を通じての到達目標	病因(種々の循環障害の原因、検査)についての国家試験過去問題を解答できるようになる。	参考書 配布資料	グループ発表の練習をしておく グループ発表で聞いた内容について復習しておく
	各コマにおける授業予定	グループワーク発表 『病因(種々の循環障害の原因、検査)』		
第12回	授業を通じての到達目標	病因(アレルギー、移植と拒絶反応)についての国家試験過去問題を解答できるようになる。	参考書 配布資料	グループ発表の練習をしておく グループ発表で聞いた内容について復習しておく
	各コマにおける授業予定	グループワーク発表 『病因(アレルギー、移植と拒絶反応)』		
第13回	授業を通じての到達目標	病因(中枢神経障害の障害部位とその原因)についての国家試験過去問題を解答できるようになる。	参考書 配布資料	グループ発表の練習をしておく グループ発表で聞いた内容について復習しておく
	各コマにおける授業予定	グループワーク発表 『病因(中枢神経障害の障害部位とその原因)』		
第14回	授業を通じての到達目標	病因(代謝性疾患、遺伝性疾患・先天奇形)についての国家試験過去問題を解答できるようになる。	参考書 配布資料	グループ発表の練習をしておく グループ発表で聞いた内容について復習しておく
	各コマにおける授業予定	グループワーク発表 『病因(代謝性疾患、遺伝性疾患・先天奇形)』		
第15回	授業を通じての到達目標	病因(貧血、死因)についての国家試験過去問題を解答できるようになる。	参考書 配布資料	グループ発表の練習をしておく グループ発表で聞いた内容について復習しておく
	各コマにおける授業予定	グループワーク発表 『病因(貧血、死因)』		